

【注意】LIFE2022 より、この内容について論文の中で明記することが必須となりました！

本大会 LIFE2022 は、人の生命・生活を維持・向上させるための、生命関連分野、リハビリテーション・生活支援分野、生体計測・制御分野等における技術研究開発、利用技術に関する講演・発表をもって、社会貢献することをめざし、3学会（日本生活支援工学会、日本機械学会、ライフサポート学会）で合同の学術講演会を開催してまいりました。これは、研究開発側とユーザ側の相互交流を通じて、分野横断的な技術の融合を促進する場を提供するものです。さらに、学術・研究機関のみならず、医療機関・福祉介護施設や企業からの参加・会合を促進することによって、参加者が社会に根付く医工学機器の研究開発に向かうべく技術意識の高揚を目指しています。

本大会が取り扱う主な分野は下記の通りです。

- ・福祉・リハビリテーション応用
移動支援機器・歩行支援機器・車いす・義肢装具・いす・福祉車両・福祉ロボット・パワーアシスト・福祉用具の設計・福祉リハビリテーション機器等
- ・生活支援
介護支援・在宅医療支援・訓練支援・就労支援・移動支援・感覚代行・コミュニケーション支援・情報支援・遊具・スポーツ・バリアフリー化・福祉建築・育児支援・生活支援技術一般
- ・生命支援
臨床検査・診断支援・治療支援・手術支援・人工臓器・再生医療・医用材料・救急医療・細胞工学・生命支援一般
- ・生体計測・制御、要素技術
生体計測・運動計測・画像処理・センサ・生体制御・電気刺激・アクチュエータ・ロボティクス・バイオメカニクス等
- ・基盤技術
安全性評価・福祉デザイン・環境評価・研究者倫理・実験倫理・標準化等

倫理的配慮

いかなる論文もすべてこの章を用意してください。

人を対象とした実験については、倫理審査委員会の許諾に関して明記して下さい。また動物を対象とした実験については、動物実験委員会の許諾に関して明記して下さい。申請番号や承認番号も記載してください。

上記に該当しない研究の場合は「該当なし」と記載してください。

研究資金・利益相反

いかなる論文もすべてこの章を用意してください。

利益相反のある著者がいる場合は、その氏名とその利益相反について全て列挙してください。

著者全員に利益相反が無い場合は、「開示すべき利益相反はない」と記載してください。

利益相反（COI）についての詳細は日本医学会ガイドライン⁽³⁾をご参照ください。

謝辞

講演論文の研究に関連して、所属組織外から、公的あるいは私的研究資金や研究機材等の援助を受けている場合には、その内容を必ずここに明記してください。

参考文献

- (1) 著者名 1, 著者名 2, 論文タイトル, 論文誌名, Vol. xx, No. xx, pp. xxx-xxx, 2009.
- (2) A. Author, B. Author and C. Author, Paper Title, Journal of Journals, Vol. xx, No. xx, pp. xxx-xxx, 20xx.
- (3) 日本医学会, ガイドライン, <https://jams.med.or.jp/guideline/index.html>, 2020.